

2018 年度第 1 回研修委員会議事録

日 時：4 月 18 日(水) 14:30 ～ 16:30

場 所：中央大学市ヶ谷田町キャンパス（中央大学ミドルブリッジ）15 階 小会議室

出席者：和田貴敏（中央大学）、岡田将彦（慶應義塾大学）、桑垣孝平・渡邊幸弘（早稲田大学）、土田大輔（明治大学）、吉水拓哉（立正大学）、粕川悠介（成城大学）

オブザーバー：新井和之（成城大学）

議 長：和田貴敏（委員長）

配付資料：

- ①研修委員会名簿
- ②地域研修見積書
- ③地域研修プログラム概要
- ④2017 年度研修委員会活動報告

議 題：

1. 私立大学図書館協会東地区部会の研修全体概要と研修委員会の任務について

研究部担当理事校より、東地区部会全体の研修事業についての検討依頼があった。具体的には、2015 年度に地域研修、事務長会・管理職研修、オンデマンド研修等の新規事業が策定されたが、各研修事業の主管や目的、実施時期等である。本年度の研修委員会は、地域研修初開催の 2016 年度と同様、予算や開催概要が決まっている。隔年開催となっている地域研修と研修会（首都圏）の現行のサイクル見直しと合わせて、2019 年 1 月の役員会に合わせて提案をまとめることとなった。

2. 地域研修の概要について

研究部担当理事校より、資料②、③をもとに概要説明があった。参加者同士の事例共有につなげるため、事前課題を予定している。本年度は予算の制約上、当日運営側の人手が足りないことが予想されるため、研修委員からも 2 人程度参加してほしいとの要請があった。出張旅費等が各大学の負担となるため、各委員は所属機関において確認することとした。

3. 今後の課題とスケジュールについて

次回研修委員会は地域研修委託先の丸善雄松堂から提案内容について詳細な説明を受けた上で、広報物に反映させる。研究部担当理事校からは、7 月の地域研修募集開始後から 10 月までは特段の協議事項がないため、私立大学図書館協会の他の委員会と同様にメール審議を取り入れながら、研修委員会開催は秋以降との提案があった。

4. その他

次回以降の研修委員会は明治大学、立正大学、慶應義塾大学の順に会場提供を依頼する予定である。

以上